

こころ

学校だより No.4

水戸市立石川小学校

校長 築瀬 浩幸

H29. 7. 20



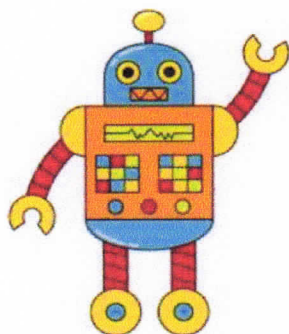
いよいよ夏休みです

終業式を終え、子供たちは待ちに待った夏休みとなります。この夏休みで小学生は、心身ともに大きく成長します。まさに、植物みるみるうちに背丈を伸ばすように。夏休み期間は高学年では「学びの広場」での学習や1学期の復習という勉強面に期待していますが、同時に夏休みでないとできない様々なことにチャレンジしてもらいたいと思っています。スポーツで身体を鍛えたり、中学校の部活動を見学したり、自然の中で過ごしたり、友達との交流で新たな発見をしたり、たくさんの経験ができる期間でもあります。ぜひ、様々なことにチャレンジしてほしいです。



夏休みの宿題も学年によって様々です。学年に応じた課題を先生方も考えています。スポーツや自由研究、読書感想文、絵画や工作等興味があるものに積極的に関わっていくことが2学期以降の生活にも良い影響をもたらしてくれます。一人一人のがんばりに期待しています。

「ロボカップジュニア2017」世界大会へ出場（5年2組種村高志さん）



3月に行われた「ロボカップジュニア・ジャパンオープン2017」（自立移動型のロボットによる全国大会）の「オンステージ部門」で中高生チームをおさえて、水戸市の小学生5人が、7月26日から名古屋で開催される世界大会に出場します。本校の5年2組の種村高志さんはその5人の中の一人です。「オンステージ部門」は、自作ロボットとチームで行うステージパフォーマンス競技だそうです。種村さんたちは「つるの恩返し」をロボットと共に披露します。パフォーマンスや質疑応答はすべて英語ということで、ロボット製作、プログラミングを含めて価値ある経験だと思います。世界大会での素晴らしい活躍を祈っています。

石川中学校の1年生との合同学習

7月18日(火)に、石川中学校の1年生が本校に来てくれて、6年生と合同で授業を行いました。国語、社会、算数(数学)、理科、英語、音楽、図工美術、技術家庭、体育の各教科に分かれて、石川中学校の先生と本校の先生がいっしょに授業をしてくださいました。これは、石川中学校区の小中一貫事業のひとつです。一般的に「中一ギャップ」といわれていますが、小学校を卒業し中学校1年生に進学したとき、子供たちは新しい環境への適応に戸惑いや不安を持ちます。それを少しでも軽減できるよう、教科担当による中学校の授業を体験したり、中学校の先生の授業を受けたり、中学生に中学校のことを教えてもらったりすることで、安心して中学校へ踏み出してほしいという願いをもって石川小中学校で取り組んできました。一小一中という子供たち自身もよく知っている上級生(先輩)と一緒に授業ができましたので、8月29日(火)には、この石川小中の取組を水戸市の先生方に見てもらい、他校の小中一貫の研修としたいと計画しています。

